

【個人タクシー台数】

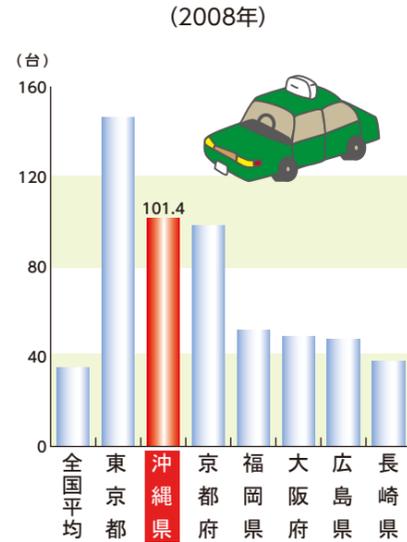
101.4台

空港の乗車客待ちタクシーの台数を見て、その数の多さに驚いたことのある人もいるのではないだろうか？

国土交通省「2008年交通関係統計資料集」によると、沖縄県の一人一車制個人タクシー、いわゆる個人タクシーの台数は1,411台。これを人口10万人あたりに換算すると101.4台となる。全国では東京に次いで2番目に多い。

モノレールができる以前まで鉄道のような公共交通機関が無かったこと、就職難の時代に比較的安定した収入を得ることができたことなどが、台数が増えた主な理由のようだ。ただ、運転手の高齢化などから、台数はこれから徐々に減少していくといわれている。

三線を弾いたり、島唄を唄ったり、個性あふれる運転手が多い個人タクシー。台数の多さは、沖縄の良さを伝える機会の拡大につながっているのかも・・・。
(海邦総研経営企画部／中山禎)



【私有林面積の割合】

24.4%

亜熱帯気候の沖縄は、温暖な気候や、島嶼地域という地理的条件が生み出す独特な自然環境がある。中でも、やんばるの森や、東洋のガラパゴスといわれる西表島などは、多種多様な生物の生息域としても重要な役割を果たしている。

農林水産省「2010年世界農林業センサス報告書」によると、沖縄県の森林面積に占める私有林面積の割合は24.4%と全国で最も低い。全国平均の54.7%と比較してみても大きく下回っている。沖縄県の貴重な観光資源でもある森林資源の75%超は、国や行政機関が所有しているのである。

森林資源の多くを所有している国や行政機関は、開発のため、森林伐採をしなければならない状況が今後もあるだろう。沖縄はそもそも都市部なみに森林の少ない地域。開発と保全のバランスを保ちつつ、貴重な森林資源をより大事に活用して欲しいものだ。
(海邦総研経営企画部／上江洲龍)



【国庫支出金の交付額】

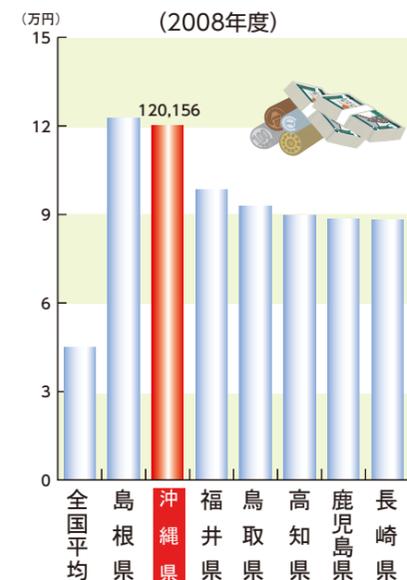
12万円

日本の多くの自治体は、自前の税収だけでは財政運営が難しい。運営していくために国からの財政移転に頼っているのが現状だ。

国が使い方を決めた上で自治体に交付する国庫支出金の県への交付額は、1653億円(2008年度)。金額ベースで考えると全国11位だが、人口1人あたりでは約12万156円となり、全国で2位の水準となる。ちなみに1位は島根県の12万2666円だ。

1972年に施政権が日本に返還されて以降、特別措置法による振興計画が継続的に実施されてきたことから、比較的多くの国庫支出金が国から交付されてきた。

国の財政状況が厳しくなる中で財政移転額は、今後も減少傾向が続くと考えられ、県財政においては、効率的な運営や税収アップが重要になってくる。県民としては、税収アップに繋がる経済発展に向けた努力を続けていきたい。
(海邦総研経営企画部／島田尚徳)



【子ども手当の支給額】

約22,853円

2010年4月から児童手当に替わり創設された子ども手当。今年10月から新たに特別措置法が施行されて手当額をはじめ未納給食費等へ充当が可能になるなどの制度改正が決定している。今年10月が従前の子ども手当として最後の支払期となった。

これまでの制度は中学校修了まで1人あたり月額13,000円が支給された。厚生労働省「子ども手当支給状況(2010年10月期)」によると、沖縄県で支給対象となった子供の数は22万8,536人。支給額は118億8,387万円で、1世帯あたりでは約22,853円となり全国1位。最下位東京都11,735円の約2倍の水準となる。子だくさんの沖縄らしい結果だ。

次回ウチナーンチュ大会を迎える5年後、子ども手当対象者のなかには新成人も誕生する。沖縄の子育て世帯の応援にもつながる制度改正となることを期待したい。
(海邦総研人材開発部／屋比久有紀)



【HV車・電気自動車の普及率】

1.0%

ガソリンで動く「エンジン」と電気でも動く「モーター」の組み合わせで走行するHV車(ハイブリットカー)や電気自動車。地球温暖化の原因となるCO2や排気ガスを削減するエコカーとして、急速に普及が進んでいる。

総務省「2009年全国消費実態調査」によると沖縄県内のHV車・電気自動車の普及率は、まだ1.0%と全国でも低い方だ。

現在、エコカー開発が進んでいるが、今までの車に比べると価格が高く、電気自動車は、「充電スタンド」などのインフラ整備に時間とコストがかかるようだ。

しかし、他府県と比べて走行範囲が限定され、比較的航続距離が短い沖縄県。今年、電気自動車のレンタカーが、多数導入され、あわせて充電器も設置された。

自家用車では、まだ購入が困難なエコカーだが、レンタカーでまずは体験するのも魅力的では？
(海邦総研人材開発部／安田ひろみ)

| 都道府県 | 普及率 (%) | 所有数量 (台) |
|----------|---------|----------|
| 1位 栃木県 | 4.0 | 42 |
| 2位 茨城県 | 3.5 | 36 |
| 3位 愛知県 | 3.2 | 33 |
| 4位 岐阜県 | 2.9 | 29 |
| 5位 山梨県 | 2.7 | 27 |
| 全国平均 | 1.9 | 19 |
| 43位 長野県 | 1.0 | 10 |
| 43位 大阪府 | 1.0 | 10 |
| 43位 和歌山県 | 1.0 | 10 |
| 43位 沖縄県 | 1.0 | 10 |
| 47位 長崎県 | 0.8 | 8 |

* 1000世帯当たりの所有数量

おきなわデータ算歩 けーざい100

「データ算歩」は県内でよく話題になる事柄を具体的に数字で裏付けて紹介しようと試みたもので、経済・数字の世界をまさに算(散)歩感覚で楽しみましょうという内容です。

「食生活」「生活・消費」「産業」「住環境」など八項目に分類。漫画やグラフを使い、見開き2ページで1項目を説明しています。アイスクリームやビールの購入額が全国一低いなど意外と思える数字も紹介。読みたい項目から読めるよう工夫しています。

沖縄県内各書店やインターネットでもご購入いただけます。沖縄けーざいを易しく知りたい、興味のある、という方に特にお勧め!

<http://www.kaiho-ri.jp>

